

# 第 22 期 中間報告書

2006年 3 月 1 日から2006年 8 月31日まで



ローツエ株式会社

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第22期上半期（2006年3月1日から2006年8月31日まで）の「中間報告書」をお届けするにあたり、当社がおかれております業界の状況と営業の状況につきましてご報告申し上げます。

## 上半期の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原油高の影響を受けながらも景気はおおむね好調に推移しました。当業界におきましては、デジタル家電や液晶テレビの普及拡大に伴い、半導体や液晶の国内及び海外での新規設備投資が増加いたしました。

このような状況の中で当企業グループは、それぞれの搬送装置の受注増加によって業績が好調に推移いたしました。ウエハ搬送機は、国内半導体メーカーの微細化に向けた新規設備投資や、台湾・韓国・中国など海外の積極的な新規設備投資により、ウエハソータやEFEMなどの装置の受注、売上が順調に増加いたしました。

一方、ガラス基板搬送機は、韓国子会社が第7世代向け大型ガラス基板搬送装置の一括受注分を納入し、新たに、レーザーを用いて液晶用ガラス基板を必要サイズに切断する開発品「ガラスカッティングマシン（GCM）」の現地ユーザーへの納入を実現しました。また、加えて国内及び台湾におけるガラス基板搬送装置関係の受注が寄与した結果、ガラス基板搬送機の当中間連結会計期間の連結売上高は、前連結会計年度の通期実績を上回る結果となりました。

そして、このような連結売上高の増加と当企業グループ全体で生産体制の確保やコストダウンへの取組みを継続してきたことによって、利益面においても着実な利益増加をはかることができました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、6,742百万円（前年同期比60.3%増）、経常利益は843百万円（前年同期比179.2%増）、中間純利益は500百万円（前年同期比252.2%増）となりました。

なお、所在地別セグメントの状況につきましては、以下のとおりであります。

（日本）

国内における半導体及び液晶の積極的な新規設備投資が継続して行われていることから、受注及び売上高の増加に伴い業績は好調に推移しました。その結果、売上高4,382百万円（前年同期比30.2%増）、営業利益475百万円（前年同期比79.3%増）となりました。

（米国）

米国半導体製造装置メーカーからのウエハ搬送装置のリポート受注が好調であったことから、売上高771百万円（前年同期比72.6%増）、営業利益98百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

（ベトナム）

当企業グループからの受注増加に伴い、ベトナム生産子会社の生産体制を十分に確保しこれに対応いたしました。その一方で、ユーザーからのコストダウンの要請に対応するために価格見直しを行いました。その結果、売上高978百万円（前年同期比34.1%増）、営業利益88百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

（台湾）

台湾及び中国向けのウエハソータを中心にウエハ搬送装置やガラス基板搬送装置の受注が大きく増加し、台湾における装置の現地生産体制が整ったことから業績は好調に推移しました。その結果、売上高



1,018百万円（前年同期比140.8%増）、営業利益97百万円（前年同期は営業損失30百万円）となりました。

（韓国）

主に第7世代向け大型ガラス基板搬送装置の一括受注分やガラスカッティングマシンの納入が売上増加に寄与したことから、売上高2,014百万円（前年同期比91.2%増）、営業利益231百万円（前年同期比60.0%増）となりました。

（シンガポール）

当社製品のメンテナンスを主体とした事業展開をはかっていることから、売上高5百万円（前年同期比83.4%減）、営業損失8百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

（中国）

中国市場の半導体工場に納入された当社製品のメンテナンスを行っておりますが、無償メンテナンスだけであったため、営業損失3百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

## 通期の見通し

通期の見通しにつきましては、当業界における新規設備投資の増加傾向が依然続くものと予想されております。このような中で当企業グループは、下期においても受注及び売上がともに堅調に増加していくものと見込んでおります。特に、半導体の製造工程で必要とされておりますウエハソータ等の装置の受注拡大や、韓国における第8世代向けガラス基板搬送装置の受注獲得と生産対応、ならびに次世代用ガラス基板搬送装置への対応を強化してまいります。また、今後に向けた新製品開発にも一層注力し、業績確保がはかれるよう努めてまいります。

これにより連結通期業績見通しにつきましては、売上高12,600百万円（前期比28.6%増）、経常利益1,470百万円（前期比62.8%増）、当期純利益886百万円（前期比49.7%増）となる見込みであります。

## 会社の対処すべき課題

当企業グループの当面の課題としましては、増加するウエハ搬送装置やガラス基板搬送装置の受注についてユーザーの要求に応じたタイムリーで低価格な製品供給体制を確保することです。

特に大型化が進む液晶ガラス基板への対応に關しましては、現在の第7世代対応搬送装置の受注実績及び量産実績をもとに、今後ともより一層ユーザーにおける新規生産ラインでの装置立上げに貢献できるよう全力を注いでまいります。

一方、業界における新規設備投資の増加・減少の波は大きく、今後とも短期的に変化しやすい環境にあります。また、最先端の新規設備投資は今後とも一層進展してまいります。当企業グループは、新製品の開発・生産・販売体制を一層強化するとともに、高品質で価格競争力のある製品をご提供し、変化の激しい各市場での新規設備投資ニーズに対応するよう努めてまいります。

そして今後ともクリーンな自動化におけるトップメーカーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後とも末永くお付き合いいただきますようお願い申し上げます。

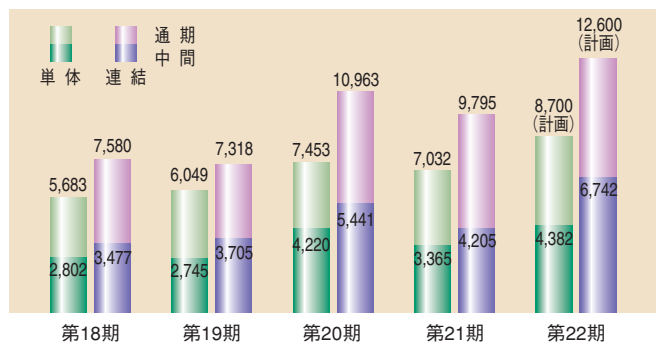
2006年11月

代表取締役社長

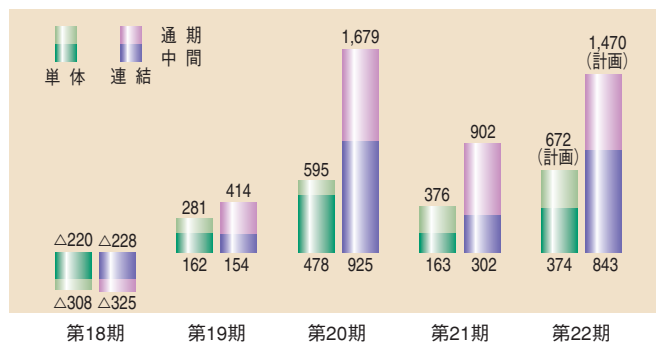
崎谷文雄

# 業績の推移

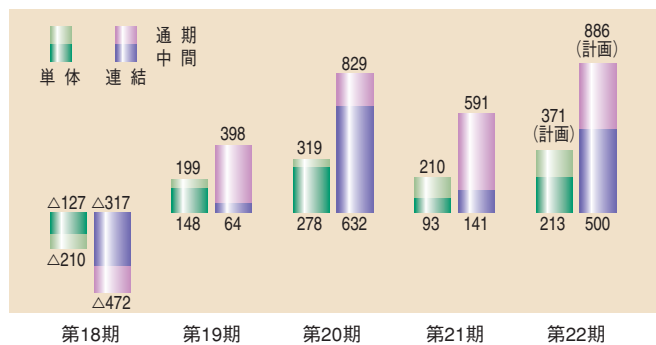
## ■売上高(百万円)



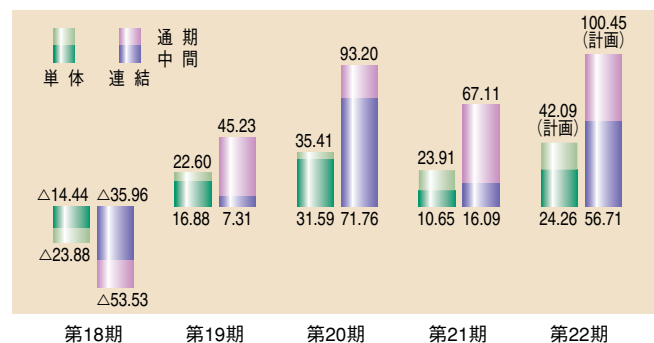
## ■経常損益(百万円)



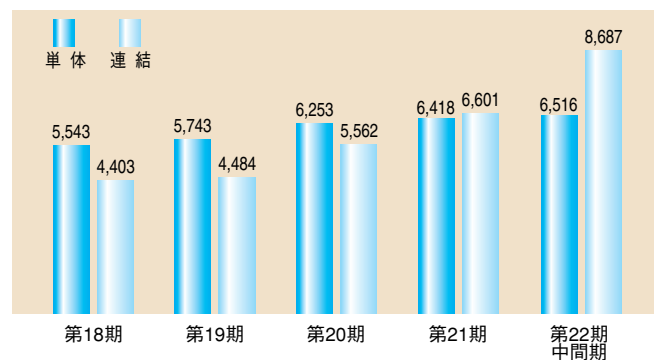
## ■中間(当期)純損益(百万円)



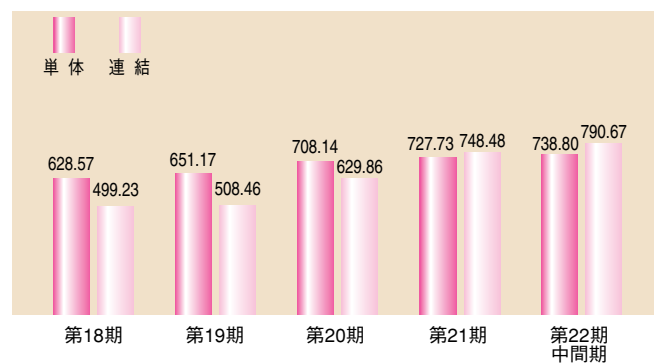
## ■1株当たり中間(当期)純損益(円)



## ■純資産(株主資本)(百万円)



## ■1株当たり純資産(株主資本)(円)



# 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

期別 科目	当中間連結会計期間 (2006年8月31日現在)	前中間連結会計期間 (2005年8月31日現在)	前連結会計年度 (2006年2月28日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	10,654,968	9,417,061	10,110,509
現金及び預金	1,491,042	1,493,020	2,251,868
受取手形及び売掛金	4,472,159	3,552,721	3,456,882
棚卸資産	4,297,834	4,104,680	4,114,549
繰延税金資産	230,045	163,324	165,440
その他	212,523	114,206	143,513
貸倒引当金	△ 48,636	△ 10,890	△ 21,744
固定資産	8,722,717	7,965,418	8,461,908
<b>有形固定資産</b>			
建物及び構築物	3,827,315	2,699,461	3,766,904
機械装置及び運搬具	288,735	301,361	292,305
土地	2,691,149	2,598,745	2,655,086
建設仮勘定	27,353	861,770	29,274
その他	190,555	158,642	173,129
<b>無形固定資産</b>			
連結調整勘定	166,870	1,210	7,091
ソフトウェア	54,085	48,952	56,593
その他	185,445	179,345	191,365
投資その他の資産	1,291,207	1,115,929	1,290,157
投資有価証券	450,954	505,946	551,182
長期貸付金	274,963	202,881	204,888
繰延税金資産	1,455	—	—
その他	574,287	417,659	544,638
貸倒引当金	△ 10,453	△ 10,558	△ 10,551
繰延資産	228,449	228,362	235,043
開発費	228,449	228,362	235,043
資産合計	19,606,135	17,610,842	18,807,461

(単位：千円)

期別 科目	当中間連結会計期間 (2006年8月31日現在)	前中間連結会計期間 (2005年8月31日現在)	前連結会計年度 (2006年2月28日現在)
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	7,748,355	6,272,993	7,138,110
支払手形及び買掛金	1,693,252	992,782	1,284,024
短期借入金	4,807,247	4,645,688	4,728,230
未払法人税等	276,370	98,740	102,302
未払消費税等	30,427	4,299	65,083
賞与引当金	126,983	72,960	85,821
役員賞与引当金	6,000	—	—
製品保証引当金	98,721	55,099	85,725
その他	709,352	403,421	786,922
固定負債	3,169,965	4,130,087	3,642,573
長期借入金	2,476,431	3,453,689	2,956,893
繰延税金負債	323,532	341,551	338,692
退職給付引当金	148,201	128,131	132,465
役員退職慰労引当金	220,896	206,417	213,640
その他	902	297	882
負債合計	10,918,320	10,403,080	10,780,684
<b>(少数株主持分)</b>			
少数株主持分	—	1,334,165	1,425,226
<b>(資本の部)</b>			
資本金	—	982,775	982,775
資本剰余金	—	1,127,755	1,127,755
利益剰余金	—	3,625,175	4,075,192
その他有価証券評価差額金	—	219,491	240,283
為替換算調整勘定	—	△ 81,600	175,545
資本合計	—	5,873,595	6,601,551
負債、少数株主持分及び資本合計	—	17,610,842	18,807,461
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	6,641,769	—	—
評価・換算差額等	331,920	—	—
少数株主持分	1,714,125	—	—
純資産合計	8,687,815	—	—
負債及び純資産合計	19,606,135	—	—

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期 別	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	当中間連結会計期間 (2006年3月1日から 2006年8月31日まで)	(2005年3月1日から 2005年8月31日まで)	(2005年3月1日から 2006年2月28日まで)
売上高	6,742,762	4,205,147	9,795,735
売上原価	4,880,055	3,027,393	7,038,287
売上総利益	1,862,707	1,177,754	2,757,447
販売費及び一般管理費	1,012,666	827,415	1,778,454
営業利益	850,040	350,339	978,993
営業外収益	79,790	59,897	104,511
営業外費用	86,710	108,227	180,528
経常利益	843,120	302,008	902,976
特別利益	1,080	3,352	1,416
特別損失	6,906	6,534	10,170
税金等調整前中間(当期)純利益	837,295	298,826	894,222
法人税、住民税及び事業税	267,290	97,530	206,268
法人税等調整額	△ 18,331	5,823	△ 1,210
少数株主利益(減算)	88,189	53,569	97,245
中間(当期)純利益	500,146	141,902	591,919

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	期 別	前連結会計年度
	前中間連結会計期間 (2005年3月1日から 2005年8月31日まで)	(2005年3月1日から 2006年2月28日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	1,127,755	1,127,755
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,127,755	1,127,755
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	3,534,873	3,534,873
利益剰余金増加高	141,902	591,919
中間(当期)純利益	141,902	591,919
利益剰余金減少高	51,600	51,600
配当金	44,100	44,100
役員賞与	7,500	7,500
利益剰余金中間期末(期末)残高	3,625,175	4,075,192

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (2006年3月1日から 2006年8月31日まで)	株主資本				評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2006年2月28日残高	982,775	1,127,755	4,075,192	6,185,722	240,283	175,545	415,829	1,425,226	8,026,777
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当	—	—	△ 44,100	△ 44,100	—	—	—	—	△ 44,100
中間純利益	—	—	500,146	500,146	—	—	—	—	500,146
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	△ 72,275	△ 11,632	△ 83,908	288,898	204,990
中間連結会計期間中 の変動額合計	—	—	456,046	456,046	△ 72,275	△ 11,632	△ 83,908	288,898	661,037
2006年8月31日残高	982,775	1,127,755	4,531,239	6,641,769	168,007	163,912	331,920	1,714,125	8,687,815

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	当中間連結会計期間 (2006年3月1日から 2006年8月31日まで)	前中間連結会計期間 (2005年3月1日から 2005年8月31日まで)	前連結会計年度 (2005年3月1日から 2006年2月28日まで)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	91,885	292,633	1,916,258
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 301,903	△ 534,225	△ 967,840
III 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 558,049	△ 693,669	△ 1,179,064
IV 現金及び現金同等物 に係る換算差額	23,719	41,940	81,840
V 現金及び現金同等物 の減少額	744,346	893,321	148,806
VI 現金及び現金同等物 の期首残高	2,235,389	2,384,195	2,384,195
VII 現金及び現金同等物 の中間期末(期末)残高	1,491,042	1,490,874	2,235,389

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、期首残高より744百万円の減少となり、当中間連結会計期間末には1,491百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は91百万円(前年同期は292百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益が837百万円(前年同期は298百万円)となったこと、売上債権の増加993百万円(前年同期は106百万円の減少)、仕入債務の増加408百万円(前年同期は82百万円の増加)、及び棚卸資産の増加181百万円(前年同期は51百万円の減少)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は301百万円(前年同期は534百万円の使用)となりました。

これは主に、RORZE SYSTEMS CORPORATIONによるS&J INTERNATIONALの株式の取得による支出132百万円及び有形固定資産の取得による支出83百万円(前年同期は233百万円の支出)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は558百万円(前年同期は693百万円の使用)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出1,500百万円(前年同期は1,340百万円の支出)、及び長期借入れによる収入700百万円(前年同期は1,034百万円の収入)、及び短期借入金の純増加額300百万円(前年同期は320百万円の支出)によるものであります。

# 会社の概要

(2006年8月31日現在)

会社の概況

商 号	ローツェ株式会社 RORZE CORPORATION
本 社	広島県福山市神辺町字道上1588番地の2
設 立	1985年3月30日
資 本 金	982,775,000円
従 業 員 数	193名
事 業 内 容	

当社は電子機器の製造販売を主な事業とし、これに附帯する事業を行っており、取扱製品を大別すると次のとおりであります。

品 種	主 要 製 品 名
ウエハ搬送機	大気用ウエハ搬送機、真空用ウエハ搬送機、カセット搬送機、自動読取ウエハソータ
ガラス基板搬送機	大気用ガラス基板搬送機、真空用ガラス基板搬送機
制 御 機 器	ドライバ、コントローラ

事 業 所

本社及び工場  
神奈川FAセンター、京都FAセンター、九州工場

重要な子会社

RORZE INTERNATIONAL PTE. LTD. (シンガポール)  
RORZE AUTOMATION, INC. (米国)  
RORZE ROBOTECH INC. (ベトナム)  
RORZE TECHNOLOGY, INC. (台湾)  
RORZE SYSTEMS CORPORATION (韓国)

# 役 員

(2006年8月31日現在)

代表取締役社長	崎 谷 文 雄
取 締 役	中 村 秀 春
取 締 役	金 子 聡
取 締 役	早 崎 克 志
取 締 役	藤 井 修 逸
監 査 役(常 勤)	櫻 井 俊 男
監 査 役	中 西 正 則
監 査 役	森 山 武 克



## 中間単体貸借対照表

(単位：千円)

期別 科目	当中間期 (2006年8月31日現在)	前中間期 (2005年8月31日現在)	前期 (2006年2月28日現在)
(資産の部)			
流動資産	7,611,814	7,123,303	7,230,825
固定資産	8,190,394	8,406,739	8,321,959
有形固定資産	3,641,553	3,761,993	3,695,745
無形固定資産	12,777	16,157	14,569
投資その他の資産	4,536,062	4,628,588	4,611,644
資産合計	15,802,209	15,530,042	15,552,785
(負債の部)			
流動負債	7,154,294	6,054,770	6,465,263
固定負債	2,131,741	3,194,494	2,668,949
負債合計	9,286,036	9,249,265	9,134,213
(資本の部)			
資本金	—	982,775	982,775
資本剰余金	—	1,127,755	1,127,755
利益剰余金	—	3,950,756	4,067,758
その他有価証券評価差額金	—	219,491	240,283
資本合計	—	6,280,777	6,418,571
負債及び資本合計	—	15,530,042	15,552,785
(純資産の部)			
株主資本	6,348,164	—	—
評価・換算差額等	168,007	—	—
純資産合計	6,516,172	—	—
負債及び純資産合計	15,802,209	—	—

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間単体損益計算書

(単位：千円)

期別 科目	当中間期 (2006年3月1日から 2006年8月31日まで)	前中間期 (2005年3月1日から 2005年8月31日まで)	前期 (2005年3月1日から 2006年2月28日まで)
売上高	4,382,263	3,365,365	7,032,982
売上原価	3,456,658	2,654,033	5,541,744
売上総利益	925,604	711,331	1,491,237
販売費及び一般管理費	523,945	512,881	1,041,489
営業利益	401,659	198,450	449,747
営業外収益	30,856	41,651	67,849
営業外費用	58,359	76,493	141,433
経常利益	374,156	163,608	376,164
特別利益	4,922	—	—
特別損失	6,474	75	974
税引前中間(当期)純利益	372,605	163,532	375,189
法人税、住民税及び事業税	198,422	70,592	168,072
法人税等調整額	△ 39,793	△ 975	△ 3,800
中間(当期)純利益	213,976	93,915	210,917
前期繰越利益	—	80,457	80,457
中間(当期)未処分利益	—	174,373	291,375

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間単体株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当中間期 (2006年3月1日から 2006年8月31日まで)	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益 別途積立金	剰余金 剰余金					利益剰余金 合計
2006年2月28日残高	982,775	1,127,755	1,127,755	61,382	3,715,000	291,375	4,067,758	6,178,288	240,283	240,283	6,418,571
中間期中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△ 44,100	△ 44,100	△ 44,100	—	—	△ 44,100
別途積立金の積立	—	—	—	—	150,000	△ 150,000	—	—	—	—	—
中間純利益	—	—	—	—	—	213,976	213,976	213,976	—	—	213,976
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 72,275	△ 72,275	△ 72,275
中間期中の 変動額合計	—	—	—	—	150,000	19,876	169,876	169,876	△ 72,275	△ 72,275	97,600
2006年8月31日残高	982,775	1,127,755	1,127,755	61,382	3,865,000	311,251	4,237,634	6,348,164	168,007	168,007	6,516,172

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# トピックス

## ●SEMICON West 2006 (2006.7.11～7.13)：サンフランシスコ

世界最大規模の半導体業界の国際展示会にて、4ポート高速ウエハソータ、200・300mm兼用ウエハソータ、新型ウエハ搬送ロボットRR741を実機デモ展示いたしました。

ブース全景（4ポート高速ウエハソータ）



200・300mm兼用ウエハソータ



新型ウエハ搬送ロボットRR741



## ●SEMICON Taiwan 2006 (2006.9.11～9.13)：台北

ウエハソータ、ウエハ搬送ロボットの実機デモ展示  
開催期間中、台湾子会社ローツエテクノロジーが台湾新聞「工商時報」第一面に取り上げられたこともあり、多くのお客様にご来場いただき、製品をご覧いただいたで、多数の引き合いを得ることができました。

ブース全景



台湾新聞「工商時報」



## ●「元気なモノ作り中小企業300社」(経済産業省)に選ばれる 2006.4

優れた技術力により世界・日本市場において高いシェアを有している、他社にはない独自の技術を持ってモノ作りをしているなど、日本が世界に誇れる中小企業300社に選ばれ、経済産業大臣感謝状を贈呈されました。





# RORZE

## 株 主 メ モ

決 算 期	2 月末日
定時株主総会	毎年事業年度末日から 3 か月以内
剰余金配当の基準日	期末配当 2 月末日、 中間配当実施の場合 8 月31日 (その他、必要があるときは、あらかじめ 公告いたします。)
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	当社の公告は、ホームページ ( <a href="http://www.rorze.com/japanese/denshi/denshikoukoku.html">http://www.rorze.com/japanese/denshi/denshikoukoku.html</a> ) に掲載しております。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番 1 号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜二丁目 2 番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
同郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター)
同 電 話 照 会 先	0120-78-2031 (フリーダイヤル)

### ● お 知 ら せ ●

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求および配当金振込指定に必要な用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル

0120-87-2031 (24時間受付：自動音声応答サービス)

およびインターネットのホームページ

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

で受付しております。